



- 立科小学校／午前9時～午前11時30分
電話 56-3131 (呼)・有線2190 (呼)
- 立科中学校／午後2時～午後5時
電話 56-1076 (呼)・有線2251 (呼)
- 立科町児童館／
午前 11時50分～午後 1時40分
電話 56-0303(直通)・有線 8888 (直通)
(担当 指導主事 中島一彦)

指導主事だより

教育委員会

なんだかうれしい

命とは…「今 今が 過ぎていくということ」

卒業の時期が迫ります。先週、南佐久郡内の小学校の授業を参観する機会を得ました。「命」「生きること」をテーマに2年生の子どもたちが考え合っていました。

○「命とは?」と暫く虚空を見つめ続けたS君。学習カードに絵を描き始めます。一心不乱に描き続けました。最後の発表場面になっても夢中に描き続けています。そして母牛に寄り添う子牛の姿を描き上げました。

「命とは」「生きる事とは」の問いに向き合った子どもたち。

心に刻まれた出来事を思い起こしながら、「命」を引き寄せようとしていた子どもたち。

算数の苦手さも子牛との出会いも・・・自分の胸の奥に刻まれた一つ一つなのだと思わされるのです。

命って・・・「ひとりひとりにとって違うもの」「人それぞれ」と、誰でも言えそうなくりで応じれば、それだけのものなのに、2年生の子どもたちは必死に考えてくれていました。

大人に比べれば圧倒的に少ない過去の出来事を手練り寄せながら、思いを巡らし続けます。そして「答えのない問い」に向かい続ける2年生たち。その姿にすごさを思うのです。

同じ空間に立ち会いながら、この教室の子どもたちは「今」を懸命に生きているように思えました。

「命とは」の問いに、交流を続けてきた農家のおじさんや牛との関りに思いを馳せたS君。胸の奥底に刻まれた子牛の誕生と命をつなげ、表現し続けたS君。

「苦手」と言う感情を根拠に「今、今を生きている命」を表現しようとしたAさん。

○A子さんは「命とは算数」と記します。先生との対話で「算数は命よりも短い」「算数が苦手だから」と呟くのです。「命」を考えながら、算数に取り組む時間や苦手と感じる今の感覚をつなげようとしていきます。命とは「今」、この時を懸命に生きること。苦手な気持ちとも戦いながら前を向こうとしている自分の気持ちを、過ぎ去る一瞬の時につなげたのではないか・・・ そう思えてくるのです。



S君の探求した命



S君、Aさん、君たちには、たくさんの未来が与えられています。「命を懸命に考え続けたこの時間という今」が、やがて2人の幸せな「過去」になってほしいと思うのです。想像もできなかったような未来が、出来事が、2人の前に立ち現れてくるのかもしれませんが、その中には、たくさんの明るい未来も確かにあると思うのです。

自分で考え、自分で決断する・・・さらに思いを巡らし続ける体験をした今日この時間。

「いつもうまくいかないのは社会や誰かのせい」と考えて、自分の人生のオーナーになれない未来ではなく、自分の足で、自分の手で「前を向いていく未来」を掴んでください。